

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 423 号	氏名	春田 大輔
学位審査委員	主 査	蒔田 直昌	
	副 査	江石 清行	
	副 査	酒井 英樹	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、男性ホルモンの関与が知られているブルガダ症候群と前立腺癌に着目し、ブルガダ型心電図が前立腺癌のリスクになるかどうかを疫学的に明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>長崎放射線影響研究所の被爆者健診受診男性 2,681 人について、ブルガダ型心電図の有無と前立腺癌の新規発症を調査し、カプランマイヤー法・コックスハザード比例解析でブルガダ型心電図症例における前立腺癌リスクを分析した。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果、前立腺癌の発症は、ブルガダ型心電図のない症例 (2,647 人中 54 人) に比べ、ブルガダ型心電図を有する症例 (34 人中 4 人) の方が有意に高いことが判明した。またブルガダ型心電図を示した前立腺癌例中 2 例が、除睾術によって心電図が正常化したことも判明し、今後の循環器病および泌尿器科学研究への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は循環器病学および泌尿器科学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			